

紀伊半島大水害  
写真で見る復旧・復興の歩み

● 奈良県

～「復旧・復興」から「振興」のステージへ～

本県の南部地域を中心に甚大な被害をもたらした紀伊半島大水害からの「復旧・復興」は、平成26年度末までを「集中復旧・復興期間」と位置づけ全力で取組を進めました。

その結果、概ね「復旧」は完了の目処をつけることができました。しかし、被災地域も含め南部東部地域は、人口流出が続くなど、依然として様々な課題を抱えています。今後は、「復旧・復興」から、「地域振興」へとステージを移し、新たに策定する「南部振興基本計画」「東部振興基本計画」に基づき、「頻繁に訪れてもらう地域」「住み続けられる地域」となるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

平成27年2月 奈良県



# 紀伊半島大水害 写真で見る 復旧・復興の歩み



平成27年2月  
● 奈良県

# 被災直後と現在の状況

平成23年台風第12号による紀伊半島大水害では、8月30日から9月4日にかけて降り続いた大雨により、奈良県南部東部地域を中心に大規模な土砂災害が発生するなど甚大な被害をもたらしました。奈良県では、『奈良県紀伊半島大水害復旧・復興計画』を策定し、被災地域の一日も早い復旧・復興をめざして取組を進めてきました。

## 大規模崩壊による被害

被災直後



現在の状況



五條市大塔町  
(宇井・清水地区)

熊野川の右岸斜面で起こった大規模崩壊により、濁流が対岸の市道までせり上がり、多くの人家が流されるなど、甚大な被害を受けました。平成24年10月に仮設護岸工事が完了し、同年11月に避難勧告が解除されました。引き続き、国による対策工事が進められています。



五條市大塔町  
(辻堂地区)

斜面崩壊で発生した土石流により、国道・市道および周辺の人家やサービスセンター、保育所など広範囲が土砂で覆いつくされました。堰堤工事の完了に伴い、平成26年12月26日に避難指示・勧告が解除されました。



野迫川村  
(北股地区)

山腹崩壊が土石流となって建物を押し流し、河道を閉塞し、上流側に湛水池が形成されました。堰堤工事の完了に伴い、平成26年7月1日に避難指示が解除されました。引き続き、国による対策工事が進められています。

被災直後



現在の状況



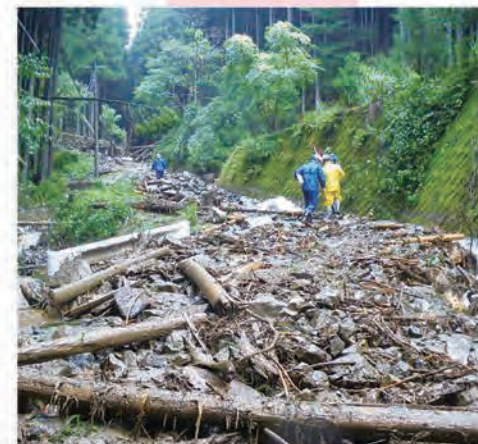
天川村  
(坪内地区)

天川村坪内地区では3か所(冷水・あしのせ・坪内谷)の山腹が崩壊し、大量の土砂が熊野川に流入。河道閉塞により人家など65棟が浸水しました。仮設道路の整備など応急復旧により、平成23年11月に通行が可能となりました。引き続き、国と県による対策工事が進められています。



十津川村  
(栗平地区)

深層崩壊により河道が閉塞し、上流側に湛水池が形成されました。仮設排水路工などの応急復旧は完了し、引き続き国による対策工事が進められています。



御杖村  
(土屋原地区)

山腹崩壊により道路が被災しました。平成26年9月に、堰堤工、溪流保全工など、対策工事が完了しました。

# 1 被災直後と現在の状況

## 主要道路の被害

被災直後



現在の状況



十津川村  
(国道168号・長殿地区)

大規模山腹崩壊により、長殿橋が被災し、地域の主要な道路である国道168号が寸断されました。国土交通省から貸与された応急組立橋(迂回路)により、平成23年11月に一般車両の通行が確保されました。その後、平成26年3月に橋梁の復旧が完了しました。



十津川村  
(国道168号・折立橋)

国道168号の折立橋は全長271.4mのうち95.8mが落橋しました。国土交通省の迅速な応急対応によって仮設橋が設置され、平成23年10月に一般車両の通行が確保されました。その後、平成26年1月に橋梁の復旧が完了しました。



川上村  
(国道169号・迫地区)

大規模な斜面崩壊により、地域の主要な道路である国道169号が寸断され、平成24年3月に応急仮橋が設置されるまでの間、200日にわたって通行止めとなりました。平成27年3月の完了をめざし、橋架の復旧工事や崩壊した斜面の対策工事が進められています。

## 農地の被害

被災直後



現在の状況



野迫川村  
(ワサビ田)

大雨による土砂の流入によって、地域の主要な産業であるワサビ田が大きな被害を受けましたが、ワサビ田を含め、農地や農業用施設の復旧は平成26年5月にすべて完了しました。

## 事業所などの被害

被災直後



現在の状況



キャンプ場  
(天川村)



温泉施設  
(十津川村)

キャンプ場や温泉施設など、地域の主要な産業のひとつである観光業も大きな被害を受けましたが、観光業のほか、被災した建設業や製造業などのうち再建意欲のある事業所すべてが平成26年9月までに再建されました。

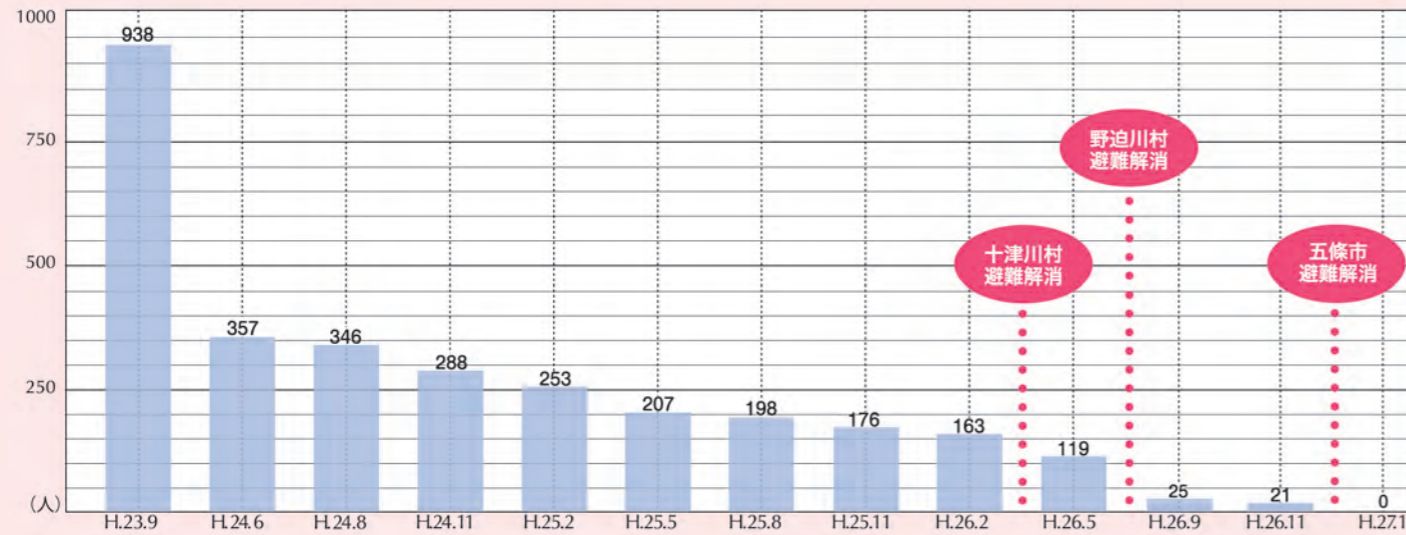
## 早期帰宅 に向けた 取組

### ◆ 一日も早い避難生活の解消に向けて

被災直後、大規模な土砂災害による二次災害の危険性から、多くの住民が自宅に戻ることができず、長い避難生活を余儀なくされました。県では、被災者が一日も早く自宅等に帰宅していただけるよう、長期避難生活の早期解消を最優先課題として、復旧・復興に向けた取組を進めました。

### ◆ 避難者の推移

被災直後のピーク時には938名の避難者がおられました。避難指示・勧告の解除に向けた土砂災害対策工事や、生活の再建に向けた新しい集落づくりなどの取組を進め、平成26年12月には、県内すべての避難が解消しました。



### ◆ 応急仮設住宅の建設

五條市、野迫川村、十津川村からの要請を受けて、寒さ対策や地域コミュニティに配慮した応急仮設住宅の建設が早急に進められ、平成23年11月には県内すべての応急仮設住宅が完成しました。また、応急仮設住宅の入居者に対し、生活家電のレンタルを行うなど、長い避難生活に配慮した取組を行いました。



五條市 五條住宅



野迫川村 北股住宅



十津川村 平谷住宅



### 天皇皇后両陛下が 紀伊半島大水害被災者のご懇談

「全国豊かな海づくり大会」への出席のため、奈良県をご訪問された両陛下は、平成26年11月15日、県立万葉文化館で、紀伊半島大水害の被災者のご懇談されました。両陛下は、被災者一人ひとりの話に耳を傾けられ、いたわりの言葉をおかけにされました。ご懇談の最後、天皇陛下は「今度の経験を生かして地域の安全性を高められるよう願っています」と述べられました。

### ◆ 復興住宅の建設と新しい集落づくり

五條市・野迫川村・十津川村では、災害により自宅を失った方々のために復興住宅が建設されました。また、被災した集落では、今回の災害によって過疎化が進行し、地域コミュニティが維持できなくなることが懸念されました。そこで、復興に際して「安心・安全で住み心地が良く、地域コミュニティが維持されるような集落」「仕事があって自立でき、交流が促進され、人が集まるような集落」を目標とした新しい集落づくりが進められることになりました。



五條市 宇井地区



野迫川村 北股地区



十津川村 猿飼(高森)地区

### ◆ 被災者支援～こころのケア

県では、災害直後から、被災された方へのこころのケアを行うため、精神科医及び精神保健福祉士などによる「こころのケアチーム」を編成し、各被災地域を訪問しました。平成24年度からは、被災された方の喪失体験や二次的な生活の変化などから生じる不安や焦燥感、気分の落ち込み等に対する中長期的な心理的支援として臨床心理士を派遣し、訪問相談や講演会などを行いました。今後も、応急仮設住宅から自宅などへ帰宅された方々に対するケアなど、引き続き、きめ細かなケアを行っていく予定です。



誘客促進



旅行雑誌「じゅらん」で天川村、吉野山の特産を掲載しました！(平成26年10月号)

◆観光プロモーション

新聞、雑誌、インターネットなどメディアを用いた情報発信や市町村と連携したイベントの開催等により、誘客活動を展開しました。

◆プレミアム宿泊旅行券

被災により減少した観光客を再び呼び込むため、南部地域の宿泊施設で利用できる『プレミアム宿泊旅行券』を発行しました。



◆KoboTrail 2014

吉野山から高野山までの道をアスリートたちと走る夢のレース「Kobo Trail 2014～弘法大師の道～」も大好評でした。



◆復旧・復興シンポジウム

紀伊半島大水害からの復旧・復興と今後の地域振興について考えるためのシンポジウムを開催しました。



◆全国豊かな海づくり大会～やまと～

「ゆたかなる森がはぐくむ川と海」をテーマに、第34回全国大会が奈良県で開催されました。(平成26年11月15日・16日)

山の伝統を現代に活かす取組です



「のせ川のまき」(高野橋)を販売するアンテナショップ(奈良市内)

ふるさと復興協力隊

◆ふるさと復興協力隊

地域の復興のための活動に従事する人材を、県が「ふるさと復興協力隊」として直接採用。これまで、仮設住宅入居者への生活支援や地域行事・イベントのサポート、集落事業支援、農業支援など、復興のためのさまざまな活動に汗を流しています。



仮設住宅入居者への買い物支援  
日常の買い物に不自由していた仮設住宅入居者に食品や生活用品を届ける活動を行いました。

産業支援

◆被災地域物産販売促進支援



泉州にぎわいフェスタ(関西空港)

被災地事業者の売上げ向上と販路開拓のため出展経費の補助を行い、地域産業の復興を支援しました。

平成26年度は、21,000人の皆さんが参加されました！

◆なんゆう祭2014

南部東部特産品の生産・販売の振興と、地域の風土・歴史・文化に根ざした魅力発信を目的に、県と市町村と関係団体が共同で開催しました。



◆下北山村の「春まな」

地域資源を活用した新たな産業の創設(6次産業化)が進められています。



下北春まな生産

◆上北山村獣害対策

有害鳥獣の駆除及び利用(食肉利用等)の確立に取り組んでいます。



箱わなに入ったイノシシ

安心・安全への備え

■監視・警戒・避難のシステムづくり

大規模土砂災害に対するソフト対策の検討を進めるため、県では、平成23年12月に「大規模土砂災害監視・警戒・避難システム検討会」を設置。以後、「深層崩壊セミナー」をはじめとする講習会や市町村との意見交換会、各種の周知・啓発活動など、安全・安心のシステムづくりに力を入れています。

セミナー



深層崩壊セミナー(左はプログラム)

周知・啓発活動



模型による実演(「土砂災害パネル展」イオンモール郡山店、同樫原店)

意見交換



取組についての意見交換会(川上村)

■深層崩壊のメカニズム解明と対策研究

京都大学・藤田教授を座長とする『深層崩壊研究会』が平成24年2月に発足。これまで「深層崩壊のメカニズム解明に関する現状報告」の公表をはじめ、国際防災学会(次項目参照)での発表など、活発な活動を行っています。また、現地調査によって得られた各種情報をデータ化・可視化し、「紀伊半島大水害 大規模土砂災害アーカイブ」として整理。これらの調査・研究成果を基に作成した『奈良県深層崩壊マップ』を防災対策に活かす試みを続けています。

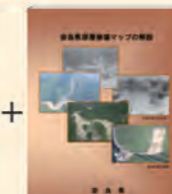
「奈良県深層崩壊マップ」の配布、周知など



奈良県深層崩壊マップの概要説明(東吉野村)



『奈良県深層崩壊マップ』と解説冊子



記録の整備・次世代への継承

■災害記録誌等の発行

この災害を風化させることなく、確実に次世代に継承するため、災害の記録をまとめた記録誌『紀伊半島大水害の記録』を発刊しました。(平成25年3月)  
また、過去に起こった災害を教訓とし、今後の防災教育・啓発の充実を図るために、災害史や防災教材DVDなどを作成しました。

■地域防災計画の見直し

紀伊半島大水害による経験や教訓を踏まえ、「災害による死者をなくす・人命を守る」を最大の目標に、できる限り被害の減少を図ることをめざして地域防災計画の見直しに着手し、平成26年3月に「奈良県地域防災計画」の見直しが完了しました。  
平成26年度からは、「市町村地域防災計画」の見直しの支援を進めています。

■紀伊半島アンカールート

紀伊半島アンカールートの整備

紀伊半島大水害で大きな被害を受けた本県南部地域において、「災害に強く、希望の持てる」地域の形成を目指し、紀伊半島アンカールートの早期整備に取り組んでいます。災害に強い道路整備により、紀伊半島全体の防災性を向上させ、近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の広域災害に対する対応力の強化を図ります。



川津道路



辻堂バイパス

■国際防災学会 インターイベント2014

紀伊半島大水害で深層崩壊を含む大規模な土砂災害が発生した奈良県において、防災に関する国際シンポジウムが開催され、我が国と海外の土砂災害の防災・減災に関する研究成果を共有しました。



開催：2014年11月25日～11月28日

関連刊行物



『紀伊半島大水害の記録』



防災教育教材 DVD



『歴史から学ぶ 奈良の災害史』



『紀伊半島大水害 大規模土砂災害の記録』

五條市



情報発信やソフト面の復興も大切です!

**福祉の立場から考える「復興」**

大塔町で保健師をしていた経験から、被災後、取り残された高齢者への訪問活動を行いました。災害で若年層の流出が増え、生活できる環境づくりを含めた「地域創造」が必要と感じています。県・市町村はもちろん、多くの方との横の繋がりを大切に、「共に考え、動く」復興をめざします。  
井筒 由佳理さん(地域包括支援センター)

五條市



避難した家に目印を付ける取り組みを始まりました!

**「今日笑顔」を明日に繋ぐ**

長い3年間でしたが、住民の皆さんと労苦を分かち合い、励まし合って乗り越えました。自衛隊や消防、県・市などのお世話になった方々にも感謝を申し上げたい。一人ひとりの「今日笑顔」を明日に繋いでいくために、皆を励ます交流をこれからも続けていきます。

北村 勇さん(自治連合会会長)

野迫川村



豊かな自然をぜひ体感しに来てください!

**より多くの方が訪れる野迫川村に**

民宿は被災を免れましたが、仮設での生活は昨年7月まで続きました。知人・友人、お客さまが心配して駆けつけてくれたり、手紙もたくさんいただいて感謝しています。今後も野迫川村ならではの自然が持つ魅力を発信し続け、多くの方を民宿にお迎えしたいと願っています。

吉野 武文さん(民宿『よしの』経営)

十津川村



お世話になった多くの皆さんにお礼を言いたい

**家長として「決断」を迫られた日々**

昨年4月ようやく自宅に戻りました。被災後、一家8人で本宮の親戚宅に避難。その後は平谷の仮設に2年間...と思えば常に「決断」を迫られる日々でした。今は、避難生活も終わり、家族全員が平穏に過ごせるありがたさを実感しています。

岡 明人さん(桑畑地区在住)

天川村



奈良の木の価値、もっと知ってほしい!

**大水害がくれた「きっかけ」**

自宅も事業所もすべて水に浸かり、片付けるのに1年以上かかりました。家族で励まし合い、周囲の人の助けもあって事業再開に至りました。水害をきっかけに林業の将来について前向きに考えるようになり、奈良の木の良さを活かした独自の家づくりにチャレンジしています。

喜良 竜介さん・知里さん(美吉野木材)

野迫川村



月に1度の「寄り合い」を大切にしています!

**体験と「安全」を次世代に伝える**

区長になって数日後に災害が起きました。北股は村の中心。ここが元気であることが大切と、仮設での生活期間や、全員が自宅に戻った後も、コミュニティの存続と活性化に心を配っています。「山」を活かしながら、自分たちの体験を次の世代に伝えていこうと奮闘中です。

中本 章さん(北股区長)

十津川村



露天風呂からの眺めは最高です!

**再びお客様をお迎えできる喜び**

台風が過ぎた翌朝に外へ出て、被害を目の当たりにして驚きました。折立橋が復旧するまでは不便を強いられましたが、1年間の休業を経て自慢の露天風呂も無事リニューアル。これからも、多くのお客様をお迎えできると張り切っている毎日です。

竹辻幸則さん(ホテル『山水』支配人)

被災からまる3年。

あの日、

たいへんな思いをされ

それを乗り越えてこられた方々の

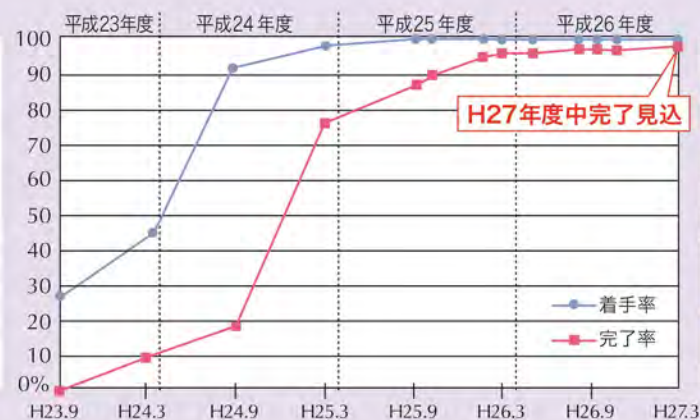
「あの時」と「現在」、

そして「これから」をお聞きしました。

### 道路

(復旧対象:126か所)

県による復旧工事は、126か所中123か所が完了。残る3か所についても、平成26年度中に1か所、平成27年度中に2か所完了する予定です。

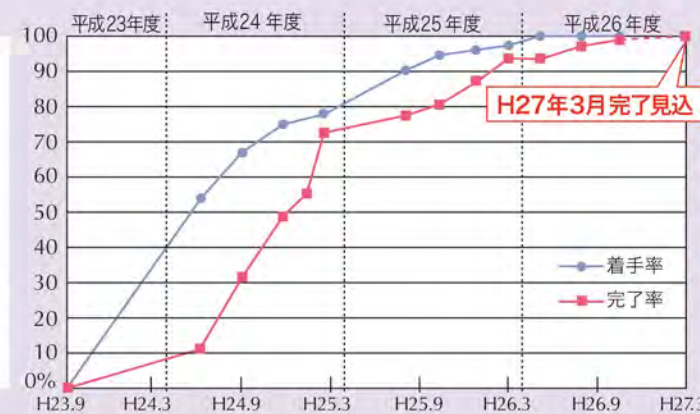


十津川村 桑畑地区

### 林道

(復旧対象:187か所)

被災187か所のうち185か所で復旧が完了。平成26年度末にはすべての工事が完了する予定です。

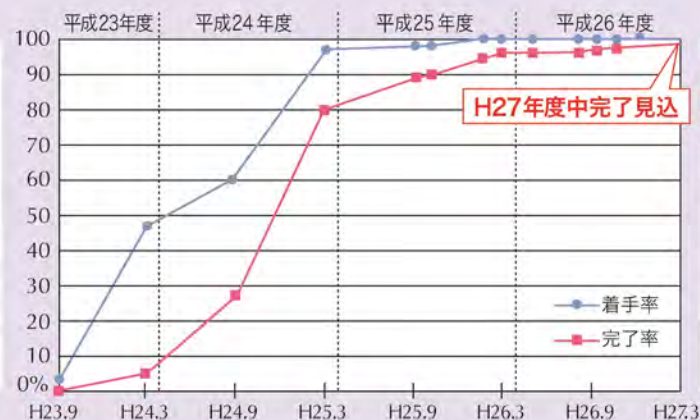


曾爾村 中の山田線

### 河川・砂防

(復旧対象:114か所)

県による復旧工事は、114か所中、全体で110か所が完了。残る4か所についても、平成26年度中に2か所、平成27年度中に2か所完了する予定です。

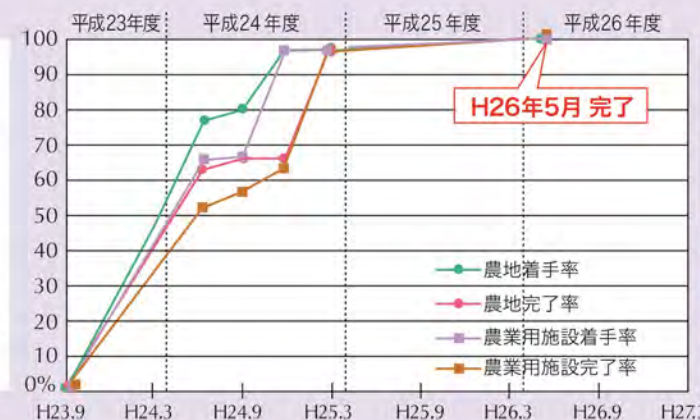


十津川村 武蔵地区

### 農地・農業用施設

(復旧対象:109か所)

被災109か所すべての復旧が、平成26年5月に完了しています。

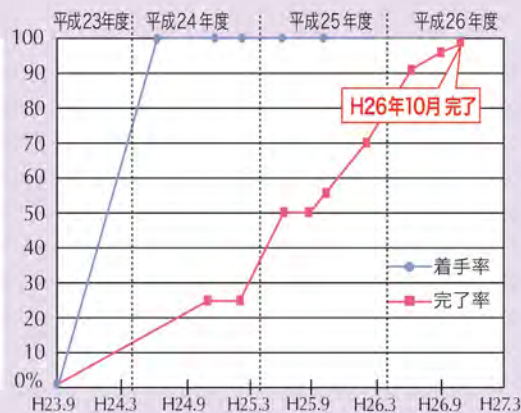


野迫川村 ワサビ田

### 河川堆積土砂

(復旧対象:8か所、総量:221万m<sup>3</sup>)

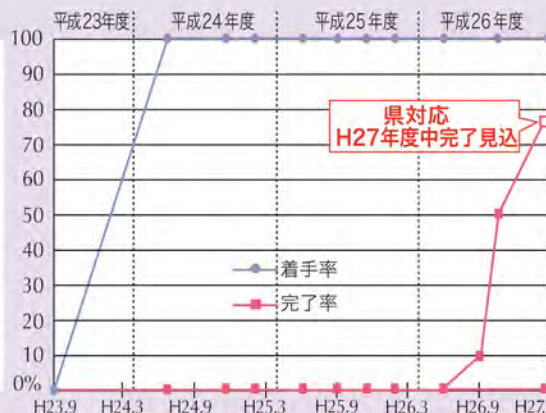
平成26年10月にすべての撤去が完了しました。



### 大規模崩壊

(復旧対象:18か所)  
県対応:12か所  
国対応:6か所

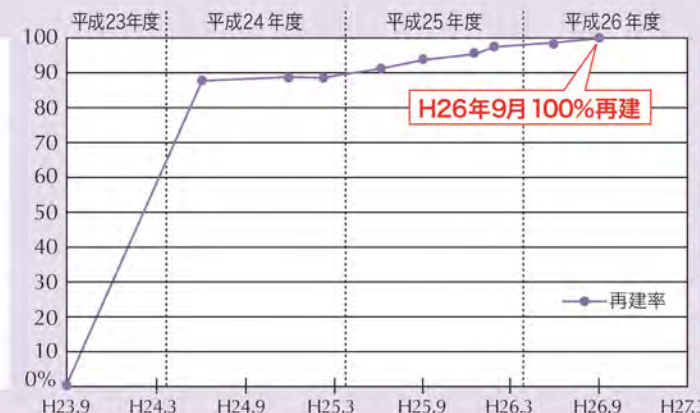
県による工事は平成26年度末で9か所が完了。国実施の工事は平成28年度完了予定。



### 事業所

宿泊業、キャンプ場等、卸売・小売業、製造業、建設業

被災した122事業所のうち、再建意欲のある事業所すべての再建が平成26年9月に完了しています。



天川村 製材所



黒滝村 赤滝地区(黒滝川)



東吉野村 麦谷地区(麦谷川)



十津川村 今西地区

### 宿泊観光客

観光プロモーションをはじめとするさまざまな取組によって、目標としていた被災前の宿泊客数を上回りました。



紀伊半島大水害発生(H23年9月)



十津川村 観光フェア

Topic 紀伊半島大水害に関する 主なできごと		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
<p>8.30~9.4 紀伊半島大水害により被災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 9.4 奈良県災害対策本部設置</li> <li>● 10.7 奈良県紀伊半島大水害復旧・復興推進本部設置</li> <li>● 10.31 第1回国・三県合同対策会議開催</li> <li>● 3.26 奈良県紀伊半島大水害復旧・復興計画策定</li> </ul>		<p>4.1 復旧・復興担当副知事を配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 6.5 第2回国・三県合同対策会議開催</li> <li>● 9.6 第1回 紀伊半島大水害復旧・復興シンポジウム開催 → P.8</li> </ul>	<p>8.8~11 台風第11号により再度被災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 9.5 第2回 紀伊半島大水害復旧・復興シンポジウム開催</li> <li>● 11.24 なんゆう祭開催 → P.8</li> </ul>	<p>9.1 第3回 紀伊半島大水害復旧・復興シンポジウム開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 10.5 なんゆう祭 2014 開催</li> <li>● 11.15 天皇后両陛下と被災者との懇談 → P.7</li> <li>● 11.16 第34回 全国豊かな海づくり大会～やまと～開催 → P.8</li> <li>● 11.25~11.28 国際防災学会 インタープリメント2014 奈良大会 開催 → P.9</li> </ul>	
避難の状況	<p>9月2日~各市町村で避難指示・勧告等を発令 ピーク時(9月5日 11:00) 県内52か所の 避難所に359世帯938人が避難</p>	<p>3月 国道169号(川上村泊)の仮設橋設置 → P.4</p> <p>※一般車両の通行規制を解除</p>	<p>3月28日 十津川村内すべての避難指示・勧告を解除</p>	<p>4月30日 十津川村の避難解消</p> <p>7月20日 野迫川村の避難解消 7月1日 野迫川村内すべての避難指示解除</p> <p>12月26日 五條市内すべての避難指示・勧告解除</p>	
被災地域の迅速な立ち直り・回復	<p>道路・林道等の復旧 ● 10月 国道168号(十津川村長殿)の応急仮橋設置 ● 10月 国道168号折立橋(十津川村折立)の応急仮橋設置</p> <p>二次災害を防ぐための土砂災害対策</p>	<p>国道168号の通行再開</p> <p>3月 国道169号(川上村泊)の仮設橋設置 → P.4</p> <p>国道168号折立橋(十津川村折立)の復旧完了1月 → P.4</p>	<p>3月 国道168号(十津川村長殿)の橋梁復旧完了 → P.4</p>	<p>8月 国道168号(五條市大塔町)の復旧完了</p>	
避難者・被災者支援	<p>応急仮設住宅の設置 11月 すべての応急仮設住宅完成 → P.6</p> <p>避難者等の心のケア 臨床心理士の派遣等 → P.7</p>	<p>完成した応急仮設住宅</p> <p>臨床心理士による心のケア</p>	<p>6月 十津川村内すべての応急仮設住宅撤去</p>	<p>10月 野迫川村内すべての応急仮設住宅撤去</p>	
生業・産業支援	<p>被災事業所の再建支援 金融支援・被災温泉施設の復旧支援 → P.8</p> <p>観光への緊急支援 観光プロモーション・南部地域復興支援プレミアム宿泊旅行券の発行・南部地域会議開催支援 など → P.8</p> <p>農地・農業用施設の復旧支援 → P.5</p>	<p>被災地域の物産販売促進支援 11月 ニッポン全国物産展開催 → P.8</p>	<p>3月 旅まつり名古屋 2014 開催</p>	<p>9月 世界遺産10周年記念物産展開催 復旧したワサビ田(野迫川村)</p>	
地域に強いインフラづくり (道路・河川・砂防・林道・治山・情報・防災)	<p>紀伊半島アンカールートの整備 → P.9</p> <p>河道整備・堆積土砂の撤去</p> <p>災害に強い森林づくり 治山事業等の推進</p> <p>奈良県地域防災計画の見直し → P.9</p>	<p>4月 長殿道路新規事業化 土砂災害への恒久的対応</p> <p>川津道路</p> <p>5月 風屋川津・宇宮原工区新規事業化</p> <p>10月 国道168号(十津川村長殿)の防災計画の見直し完了</p>	<p>5月 すべての農業用施設の復旧完了</p> <p>5月 すべての農地の復旧完了</p> <p>4月 阪本工区新規事業化</p> <p>東吉野村妻谷の工事完了 8月</p> <p>9月の御杖村土屋原、天川村広瀬の工事完了</p> <p>10月 十津川村小井ほか2箇所の工事完了</p> <p>10月 市町村地域防災計画の見直し支援</p>	<p>10月 全ての堆積土砂撤去完了</p> <p>10月 復旧した林地(天川村)</p>	
新しい集落づくり	<p>復興住宅の建設 → P.7</p> <p>集落づくり 9月 活力と魅力あふれる 村づくり推進委員会設置(十津川村) → P.7</p>	<p>7月 十津川村復興モデル住宅完成</p>	<p>4月 十津川村の復興住宅完成</p>	<p>7月 五條市の復興住宅完成 6月 野迫川村の復興住宅完成</p> <p>すべての復興住宅完成</p>	
産業・雇用の創造	<p>地域産業の復興支援 農産品等の6次産業化の推進、有害鳥獣駆除及び活用等 → P.8</p>	<p>完成した復興住宅(十津川村)</p>			
くらしづくり	<p>地域包括ケアの推進 住民参加による、地域で暮らし続けるための仕組づくりの検討を開始 おおとう元気会議の設立(五條市大塔町)</p> <p>移住・定住の促進</p> <p>ふるさと復興協力隊の配置 → P.8</p>	<p>地区別懇談会の様子</p> <p>消防署員による訪問・見守り</p>			
安全・安心への備え	<p>大規模土砂災害監視・警戒・避難のシステムづくり 監視・警戒・避難のシステムづくり → P.9</p> <p>2月 深層崩壊セミナー開催 12月 大規模土砂災害監視・警戒・避難システム検討会設置</p> <p>深層崩壊のメカニズム解明と対策研究 → P.9</p> <p>2月 深層崩壊研究会設置 10月 大規模土砂災害アーカイブのホームページ開設</p> <p>6月 深層崩壊のメカニズム解明に関する現状報告</p> <p>3月 『紀伊半島大水害の記録』発刊</p> <p>3月 『歴史から学ぶ 奈良の災害史』発刊</p> <p>3月 防災教育教材DVD「災害から身を守る」作成</p>	<p>2月 総合的な防災システムの構築 モデル地区設定</p> <p>11月 深層崩壊セミナー開催</p>	<p>2月1日時点 20名配備(2市2町6村) 深層崩壊セミナー開催</p> <p>2月 『土砂災害地域防災マップづくりガイドライン』公表</p> <p>11月 防災セミナー開催</p>	<p>9月 『奈良県深層崩壊マップ』公表</p>	